

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 25 年 6 月 14 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	東京大学サステイナブルキャンパスプロジェクト -蛍光灯のインバータ化による CO2 削減対策-
承認番号	JCDM-PJ0001
排出削減事業者名	国立大学法人東京大学
排出削減共同実施事業者名	株式会社ローソン
事業実施場所	東京大学 本郷キャンパス (東京都文京区本郷 7-3-1) 東京大学 駒場 I キャンパス (東京都目黒区駒場 3-8-1) 東京大学 駒場 II キャンパス (東京都目黒区駒場 4-6-1) 東京大学 白金キャンパス (東京都港区白金台 4-6-1)
事業の概要	東京大学サステイナブルキャンパスプロジェクトの一環として、東京大学の本郷 (30,370台)、駒場1 (4,845台)、駒場2 (852台)、白金 (2,740台)、の各キャンパスにおいて、総計38,807台に及ぶ蛍光灯のインバータ化によって省エネルギー対策を行う。
排出削減量の計画	1,991 t CO2/年 (事業実施期間合計 7,964tCO2)
国内クレジット認証期間	事業開始日 2009年4月1日 終了予定日 2013年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 006 照明設備の更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2012年4月1日～2013年3月31日 (第4回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

<b>排出削減量</b>	2,108tCO <sub>2</sub> (2012年4月1日～2013年3月31日)
--------------	--

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 承認排出削減事業計画通りに、インバータ付き蛍光灯設備が導入されていることを、排出削減事業者への質問や関連資料の閲覧等により確認した。</li> <li>2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを使用実態についての事業者への質問により確認した。</li> <li>3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることは、第一回目の実績確認の際に確認済み。</li> <li>4) その他、本事業に前回実績報告から重要な変更がないことを確認した。</li> </ol>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 承認排出削減事業計画に従ってモニタリングが実施され、活動実態に大きな変動のないことを確認した。</li> <li>2) 照明稼働時間に係る活動時間が把握され、活動実態に大きな変動のないことを確認した。</li> <li>3) 排出削減量の算定式および使用されている排出係数は排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、また、算定結果が正確であることを確認した。</li> <li>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</li> </ol>

	5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。

## 5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 1,264.9kl であることを確認した。